

令和6年度 長野県公立高等学校入学者選抜における実施内容

- (表の見方) 1 「募集」欄は令和5年度(2023年度)入学者選抜の募集学級数です。令和6年度入学者選抜の募集学級数は11月に発表する予定です。
 2 前期選抜の募集率%の数字は募集人員の上限を表しています。
 3 第2志望欄の○印がついている学科間においては相互に第2志望を認めます。(学校により第3志望まで認める場合があります。)
 4 傾斜配点欄は実施する教科および倍率です。
 5 再募集欄は前期選抜及び後期選抜において募集定員に満たなかった場合の実施予定内容です。
 6 } はくくり募集をする学科です。
 7 空欄になっている箇所については実施しません。
 8 後期選抜ではすべての公立高等学校が学力検査を実施します(ただし、通信制課程は除きます)。
 9 小論文Aは与えられたテーマに関して一つの論文として答える形式、小論文Bは与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。
 10 新型コロナウイルス感染症等に係る追検査の実施内容は後期選抜と同一の内容になります。

1 長野県上田高等学校(全日制課程)

番号	高校名	学科	募集	前期選抜(自己推薦型選抜)					後期選抜(一般選抜)						
				募集率%	募集の観点	志願理由書(自己PR文)	面接	作文(小論文)	実技検査	志願理由書(自己PR文)	面接	作文	実技検査	傾斜配点	第2志望
29	上田	普通	8												

2 長野県上田高等学校(定時制課程)

番号	高校名	学科	募集	前期選抜(自己推薦型選抜)				後期選抜(一般選抜)				再募集				
				募集率%	募集の観点	志願理由書(自己PR文)	面接	作文(小論文)	志願理由書(自己PR文)	面接	作文(小論文)	第2志望	志願理由書(自己PR文)	面接	作文(小論文)	
29	上田	普通	1	50	①向上心と意欲をもって、まじめに学習活動に取り組むことができる者 ②卒業後の進路設計を考え、就業や学習に積極的に取り組む姿勢のある者 ③他者の意見や気持ちを尊重し、配慮ができる者 以上の①②③をすべて満たす者	本校で用意した志願理由書に記入して提出する。 ①志望動機 ②中学校生活 ③入学後の抱負 ④将来の進路希望について	<個人面接 約15分> 志願理由書に記入したことを中心に個人面接をする。	《作文》 ①字数 400字程度 ②時間 40分 ③テーマ 検査当日に提示	本校で用意した志願理由書に記入して提出する。 ①志望動機 ②中学校生活 ③入学後の抱負 ④将来の進路希望について	<個人面接約15分> 志願理由書に記入したことを中心に個人面接をする。				○	○	○

- (表の見方) 1 再募集の志願理由書から作文(小論文)欄については、前期または後期選抜において実施する内容と同じかそれに準ずる場合は○印がついています。
 2 新型コロナウイルス感染症等に係る追検査及び特例再募集の実施内容はそれぞれ、後期選抜及び再募集と同一の内容になります。

令和6年度 長野県公立高等学校入学者前期選抜における評価方法

- (表の見方) 1 「観点別」欄は同一学科内において「募集の観点」で示した区分や受検の型等により評価方法が異なる場合には分けて表しています。
 2 「調査書」から「実技検査」欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で表しています。評価点を示したのではなく、合計して合否を判定するわけではありません。また、複数の選抜資料の相関関係を見ながら総合的に判定する場合は、備考欄において解説しています。
 3 「調査書」から「実技検査」欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。
 4 「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」欄に表記しています。
 5 事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、調査書及び面接の参考にします。
 6 「調査書」の学習成績における評定値を示す場合は目安として示しています。

1 長野県上田高等学校(定時制)

番号	高校名	学科	観点別	評価方法	調査書	面接	作文(小論文)	実技検査	備考
29	上田	普通		比重	25	45	30	—	
				項目等	学習に対する態度を重視し、内容を総合的に評価する。	志望動機 意欲 自己表現力 身だしなみ 態度	理解力 表現力		